

第71回情報・システム研究機構国立極地研究所運営会議議事要録

日 時 令和7年6月6日（金）10：00～11：30

場 所 国立極地研究所 中会議室及びZoom

出席者 伊村議長、森本副議長、阿部委員、池原委員、石川委員、井関委員、香川委員、佐藤委員、塩川委員、渡部潤一委員、榎本委員、堤委員、外田委員、平譯委員、川村委員、猪上委員

陪席者 野木所長、田村所長補佐、宮本南極観測センターマネージャー、熊谷広報室長、沼田管理部長、大西財務課長、坂本総務企画課長、瀬戸口総務企画課副課長、中山総務企画係員、吉塚総務企画係員

（開会）

坂本総務企画課長から、出席者は委員18名のうち16名であり、会議の成立要件である定足数（委員の過半数の出席）を充たしていることが報告された。

議長から開会が宣言された。

（所長挨拶）

議事に先立ち、野木所長から挨拶があった。

（資料の確認）

坂本総務企画課長から、資料及び前回議事要録について説明があった。

（審議事項）

1. その他

特になし。

（報告事項）

1. 特任教員及び特任研究員の人事について

伊村議長から、資料1に基づき報告があった。

2. 自己点検評価及び国際外部評価の実施について

堤委員から、資料2に基づき報告があった。評価の進め方や実施体制について質疑応答があった。また、評価の方向性を具体化し、それを客観的に評価できる適切な国際外部評価委員を

選定すると良いのではないかとの意見があった。

3. 令和8年度概算要求について

沼田管理部長から、資料3に基づき報告があった。

4. 共同研究及び研究活動について

伊村議長から、資料4に基づき報告があった。

5. 南極地域観測事業について

伊村議長から、資料5に基づき報告があった。

6. 北極研究について

猪上委員から、資料6に基づき報告があった。

7. 国際極域・地球環境研究推進センターの活動について

野木センター長から、資料7に基づき報告があった。

8. 広報活動について

伊村議長から、資料8に基づき報告があった。

9. 総合研究大学院大学先端学術院極域科学コースの現況について

平譚委員から、資料9に基づき報告があった。

10. その他

特になし。

(意見交換)

・アウトリーチ活動を活発に行っていることは評価できる。今後はアウトリーチ活動を寄附金等の自己収入の増加につなげる方策があるとさらに良いのではないかとの意見があった。

・国際学術会議が「サイエンス・ディプロマシー」に注力しようとしており、特に北極域の研究・観測においては関係する場面も想定されるため、今後の対応を検討すべきではないかとの意見があった。

・南極観測船「しらせ」の後継船計画について進捗状況の確認があった。

(閉会)

議長から閉会が宣言された。

(次回開催予定の確認)

沼田管理部長から、次回運営会議日程について通知があった。

以上